

平成23年行政事業レビューシート

(警察庁)

事業名	自動車ナンバー自動読取装置の整備		担当部局庁	情報通信局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	昭和61年度～		担当課室	通信施設課		通信施設課長 牛田 克己	
会計区分	一般会計		施策名	複数施策(1～7)			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取装置を整備する。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	1,185	992	0	85	1,801
		繰越し等	413	5,927	0	0	
		計	88	1,940	2,028	0	
	執行額	1,510	4,979	2,028	85	1,801	
	執行率(%)	1,431	4,013	1,915			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	(成果目標) 自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するための自動車ナンバー自動読取装置の整備 (成果実績) 累積整備数	成果実績	累積整備数	830	1,041	1,496	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	年間整備数(更新・増強)	活動実績 (当初見込み)	年間整備数	増強:54 更新:32	増強:211 更新:49	増強:455 更新:120 (増強:455 更新:120)	- (更新:5)
単位当たりコスト	15,962(千円/箇所)		算出根拠	1箇所当たりの更新経費(設置工事費)			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	物品購入費	33	1200	前年度と比較して、整備箇所数が増加したため、増額となったもの。			
	雑役務費	52	601				
計	85	1801	東日本大震災復興関連事業(1,580百万円)				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1 支出先・使途の把握水準・状況 本事業に係る機器設置工事費等については、地方機関に予算配賦して執行しているが、地方機関から執行状況の報告を受けているので、支出先については把握している。</p> <p>2 見直しの余地 自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。予算要求に際して、契約実績額や市場調査に基づく金額や内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。また、過去の調達実績の反映等を図っており、今後とも引き続き実施する。</p>		
	予算監視・効率化チームの所見		
一部改善	<p>1 支出先・使途等の実態把握の状況に関する所見 おおむね十分と認められる。</p> <p>2 改善策の内容及び横断的見直しの状況に関する所見 整備に必要な物品の調達について、入札結果を検証した上で、より競争性を高める工夫をすること。</p> <p>3 レビューシートの分かりやすさに関する所見 おおむね分かりやすい。</p>		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
	<p>自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。予算要求に際して、契約実績額や市場調査に基づく金額や内容の精査を引き続き実施し、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行う。また、過去の調達実績を反映するなど、予算の削減に努めていくこととする。 (削減額: 1百万円)</p>		
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
特になし			

警察庁
1,915百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な
機器設置工事に要する予算を配賦



【予算配賦】

A. 管区警察局等情報通信部

関東管区警察局
594百万円

各管区警察局等
(8機関)
1,321百万円



自動車ナンバー自動読取装置の整備
に必要な経費を支出

< 工事等 >

【一般競争入札等】

B. 民間会社
(14者)
594百万円

自動車ナンバー自動読取装置の整備に必要な機器設置
工事等を実施

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する)(単位:
百万円)

A. 関東管区警察局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
予算配賦	自動車ナンバー自動読取装置の整備に要する経費	594			
計		594	計		0
B.A株式会社			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
工事費	門型構造物及び搭載装置整備工事()及び()ほか	232			
計		232	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	関東管区警察局	予算配賦	594		
2	近畿管区警察局	予算配賦	375		
3	中国管区警察局	予算配賦	245		
4	中部管区警察局	予算配賦	230		
5	九州管区警察局	予算配賦	151		
6	東北管区警察局	予算配賦	109		
7	東京都警察情報通信部	予算配賦	107		
8	北海道警察情報通信部	予算配賦	57		
9	四国管区警察局	予算配賦	47		
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A株式会社	門型構造物及び搭載装置整備工事ほか	232	2	
2	B株式会社	通信施設整備工事	88	3	
3	C株式会社	通信施設整備工事ほか	83	4	
4	D株式会社	通信機器搭載柱等設置工事	46	3	
5	E株式会社	通信機器更新・増設整備工事	46	2	
6	F株式会社	通信施設整備工事	36	5	
7	G株式会社	通信施設整備工事監理業務ほか	21	3	
8	H株式会社	通信施設整備等工事	10	7	
9	I株式会社	通信機器更新・増設整備工事監理業務委託	7	5	
10	J株式会社	通信施設整備工事監理業務委託	7	4	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

自動車ナンバー自動読取装置の整備

自動車利用犯罪の迅速かつ的確な検挙のため、
自動的に自動車のナンバーを読み取って手配車両のナンバーと照合する装置を整備

自動車ナンバー自動読取装置の概要

